

いつも「子どもたち」の笑顔と共に

現在の糸島市図書館本館は、いわば三代目。初代は平成10年に「移動図書館車（ぼびるす号）」という形で誕生しました。幼稚園や保育園、小学校、公民館などを定期的に巡回して本の貸出を行い、子どもたちはその日を心待ちにしています。

二代目はその7年後に建設された、旧前原市図書館（ぼびるす館）です。開館の翌年には定例おはなし会をスタート。翌年の平成18年からは、乳児健診で絵本を届ける「ブックスタート」や、夏休み子ども教室などを開始しています。

そして、現在の場所に移転オープンしたのが平成27年。二代目図書館はワンフロアのみでしたが、三代目は3階建てとなり、一般書と児童書のフロアを分けることができました。さらにおはなし会用の部屋や畳敷きのコーナー、授乳室なども児童書フロアの2階に設置し、より親子で訪れやすい環境となったのです。同館の歩みには、いつも子どもたちへの眼差しがありました。

絵本の持つ力を届けるおはなし会

司書の川浪正子さんは、旧前原市図書館時代から、定例おはなし会を担当しています。始めた当初は、子どもたちが笑い声をあげるような、反応が返ってくる絵本を選びがちだったそう。けれど、あ

子どもから大人までみんなが集う場に

現在地に移転してからは、家族みんなで来館し、一緒に本を読んだり選んだりしている光景がよく見られるように。パパと子ども、という組み合わせも増えたそう。「家族で本を楽しんでいただけるのは、とても嬉しいですね。でも一方で、学年が上がるにつれて、全く本を読まない子どもも増えているんです」と、川浪さん。今年度は、市内の新中学一年生を対象に、学校で一人一台貸与されているタブレットで電子書籍を利用できる試みを実施しています。

想像力や思考力、表現力、必要な情報を自ら選取る力。人生をより豊かに生きるための様々な力を、自然と育てていけるのが読書です。糸島市図書館は、幼い頃から



糸島市図書館本館
おはなし会・YA本研究会等担当
川浪正子さん



子どもたちと
本の世界をつなぐ
糸島市立図書館

本と一緒に大きくなるろう

地域ぐるみで子育てをサポートし、見守っている糸島市。市内にある3つの公共図書館もまた、子どもたちの豊かな心を育み、学びを支えるために様々な取り組みをおこなっています。今回は糸島市図書館本館を訪ね、その歩みや活動について取材しました。

「笑いだけが楽しさじゃないんですよね。知らなかったことを知る楽しさや、想像を膨らませる楽しさもある。子どもたちの心に静かに染み込んで世界を広げていく、そんな絵本を届けたいと思うようになりました」と話します。コロナ禍によりプログラムを短縮し、人数制限を設けていますが、それがプラスに働いた面も。読み手

子どもたちが本に親しみ、大きくなってもそれを継続していけるような支援を常に模索中。図書館も子どもたちと一緒に、日々成長を続けているのです。



おはなしのへやの前には、次回のおはなし会のプログラムを書いた立て看板が。「扉を開けて別の空間に入ること、ワクワク感が高まるようです」と川浪さんにはっこり

DATA

糸島市図書館本館

☎092-321-1432
(住所) 糸島市前原東1-3-1
(開館時間) 10時～18時
※日曜・祝日は～17時

(休館日) 月曜・第4水曜、年末年始
※9/24(土)～10/3(月)はシステム更新のため、三館とも臨時休館
(HP) <https://www.lib-itoshima.jp>

糸島市図書館 二丈館

☎092-332-2118
(住所) 糸島市二丈深江 1360
(糸島市交流プラザ二丈館内)

糸島市図書館 志摩館

☎092-332-2119
(住所) 糸島市志摩初 30
(糸島市交流プラザ志摩館内)



赤ちゃん向け絵本を描いた、ねころびコーナー。靴を脱いであがる場所なので、ねんね期やハイハイ期の赤ちゃんと一緒にでも大丈夫です

おはなし会は3種類

本館では、対象年齢を分けて3つのおはなし会を開催。絵本の読み聞かせだけでなく、赤ちゃんや1～2歳児対象の会では手遊びやわらべ歌、定例おはなし会ではストーリーテリング（語り）や紙芝居なども行う、多彩なプログラムです。

- 1 赤ちゃんおはなし会**
(対象) 0歳児とその保護者、定員7組
(開催日時) 奇数月の第2金曜 11時から20分程度
- 2 ちいっぴい子のおはなし会**
(対象) 1～2歳児とその保護者、定員5組
(開催日時) 偶数月の第2金曜 11時から20分程度
- 3 定例おはなし会**
(対象) 3歳児以上、定員10名
(開催日時) 毎週土曜 11時から20分程度
※いずれも会場は2階のおはなしのへや。①②は開催月の1日から前日までに、電話かカウンターにて申込みを。③は当日10時からおはなしのへや前にて受付。

カウンター上

カウンター周辺やHPで情報をチェック

カウンターには、司書が選んだおすすめ本のリストが置いてあります。自由に持ち帰ることができるので、何を選んだら良いかわからない時は参考にしてみてください。併せて、本の世界をより楽しめるイベントのチラシが置かれていることも。HPでも、イベント情報や、新着資料案内（毎週金曜）、貸出ベストなどを随時更新・公開しています。子どもページもあるよ!

YAコーナー

YA本研究会が活躍しています!

YAとは Young Adult の略で、子どもから大人へと成長していく中・高校生を指す言葉。この世代向けに書かれた本をYA本と呼びます。同館では、糸島市内の中高生と川浪さんとでYA本研究会を結成し、毎年おすすめリストを作成しています。現役YAが選書しているリストは珍しいそうで、福岡県立図書館など他の図書館からも「欲しい!」と言われるほど。他にもテーマを決めて選んだ本の展示や、ブックカフェ、ビブリオバトルなどのイベントにも携わり、本好きのYAを増やそうと奮闘しています。

注目 POINT

絵本コーナー

きっと見つかる好きな一冊

ずらりと並んだ表紙を見ているだけで楽しい、絵本コーナー。昔好きだった懐かしい本と再会できたりと、大人にもおすすめです。ちなみに、子どもは気に入った本を何度も「読んで」と言いますが、それは自分の知っているストーリーが繰り返されることで、気持ちが落ち着くからだろう。読み手は、またこれ?と驚かしてしまっていますが、こうした時期は決して長くはなく、時が経てば親子の大切な思い出になります。そんなかけがえない一冊との出会い、図書館で探してみませんか。

検索機

読みたい本を探してみよう

各階にあるタッチパネル式の検索機(OPAC)は子ども用画面もあり、自分で読みたい本のタイトルやキーワードを入力して探すことができます。本の場所で「閉架」と出てくることがありますが、それは一般公開されていない書架のこと。図書館にはどんどん新しい本が増えるので、出版から年数が経った本や利用が少ない本などを閉架に保管しているのです。閉架にある本を読みたい時や、探している本が見つからない時は、司書に尋ねましょう。